

セミナー通信

復刊第2号 2012年2月発行



2012年から新しい公開セミナー『治療技法論』がはじまりました！



公開セミナー
治療技法論
ラカン理論に基づく治療技法の実際

- 日時：2012年 2月11日（土） 13:30～16:30(開場時間も13:30になります)
- 会場：日仏会館（東京・渋谷区恵比寿3-9-25）509号室
- 講師：藤田博史（精神分析医）
- 第2講：「治療とはなにか？治癒とはなにか？」
- 聴講料：1,000円
- ご予約・お問い合わせはユーロクリニック文化部まで
(tel：042-308-7637 E-mail：ys@euroclinique.com)



マップをクリックすると拡大表示
することができます。

☆セミナーの受講者には『受講証』を発行します。
詳しくはこちらをご覧ください。

右上の写真は南仏・ヴァンスのマティス制作のロザリオ礼拝堂の外観

日仏会館の場所は、恵比寿駅東口から、「動く歩道」経由で
恵比寿ガーデンプレイス方面、徒歩10分

目次

2012年2月 復刊第2号

セミナー断章 2012年1月の記録より



今回からいよいよ

公開セミナー「治療技法論」シリーズの
連載がはじまります。

今回のテーマは「精神分析における治療技法とはなにか？」

まず治療技法そのものの意味を問います。

記事はこちらからどうぞ。

(写真は南仏・アンティーヴにあるピカソ美術館テラスのピカソの彫刻と地中海)

タイムマシンにおねがい

いよいよ連載開始！

「タイムマシンにおねがい」第0回

今回は、2012年公開セミナー「治療技法論」

から1999年の「新世紀人形展」まで

一気に遡ります。

記事はこちらからどうぞ。

(写真は南仏・イタリアに最も近い街マントンの路地裏)



テキスト効果 第4回



実験的エッセイ『テキスト効果』も

いよいよ第4回目をむかえました。

今回のテーマは前回に引き続き

「擬制としての二者関係について」

『『甘え』の構造』の「甘え」関係と

「タテ社会」の「タテ」関係の意外な関係に迫ります。

記事はこちらからどうぞ。

(写真は、南仏・ロクブリュヌ・カップ・マルタンにある建築家・ル・コルビュジェの休暇小屋カバノンの外観)

編集後記

『セミナー通信』復刊第2号は

いかがでしたでしょうか。

今月から公開セミナー『治療技法論』より

抜粋した「セミナー断章」の連載が始まりました。

また「タイムマシンにおねがい」もいよいよ連載開始。

徐々にパワーアップする『セミナー通信』を

これからも引き続きよろしくお願いたします。

(写真は南仏・ロクブリュヌ・カップ・マルタンのカバノン付近より地中海を臨む)



PAGE TOP ㊦

=====

精神分析医 藤田博史による
公開セミナーの予告と記録
SEMINAIRE OUVERT PERMANENT
février 2012
『セミナー通信』Webマガジン版
2012年2月発行 「セミナー通信 復刊第2号 2012年2月号」
発行 ユーロクリニック文化部 EUROCLINIQUE Division Culturelle
編集 ユーロクリニック文化部 榊山裕子
Tel:042-308-7637 E-mail: ys@euroclinique.com

=====

Copyright 2011-2012 EURLCLINIQUE Division Culturelle. All Rights Reserved.